（令和2年度　第3号）

翔洋通信

翔洋学園高等学校
渉外・図書部編集
令和3年3月発行

困難な時だからこそ「明日」に向かって

校長 佐藤睦美

この１年間は新型コロナウィルスの出現という，今まで誰も経験したことのない脅威にさらされ，本校も約２カ月間休業を余儀なくされました。世の中が暗く沈み込むような毎日に，誰もが不安にかられたことと思います。学校再開後も，「新しい生活様式」は当たり前になりました。変化する日常に戸惑うことも多かったと思いますが，そんな中でもこの１年間の学習を修められた生徒の皆さんに，自信をもって実践して欲しいことがあります。それは，変化が激しく困難な時だからこそ，前進することを諦めないで欲しいということです。

新型コロナウィルス出現の以前からよく言われてきたことですが，社会の変化は今までとは比べものにならないほど激しいものとなるでしょう。しかし，大切なことは目の前の不安や困難から目を背けるのではなく，どのようにすればよいか考え，今できることを試しにやってみること，それを繰り返して適応することです。このコロナ禍に適応し，学習を続けられたことを自信に変えて，これからの社会の変化にも前向きに向き合って欲しいと思います。

各種表彰受賞者より　感謝と決意

全国私立中学高等学校連合会長賞　いわき学習センター　渡辺愛美

この度，全国私立中学高等学校連合会長賞を受賞することができ，大変嬉しく思います。私は昨年の第６回校内芸術展にて，美術の部(絵画)で最優秀賞をいただきました。題名は，「夢幻の宙」。一瞬一瞬を大切にしようという思いでこの絵を描きました。学業と並行して創作活動にも打ち込むことができ，令和２年度は特に充実した年となりました。私は卒業後，大学に進学します。心理学を学び，将来は大学で学んだことと自分自身の経験を活かし，心に問題を抱えた人々の手助けができるような職業に就きたいと考えています。翔洋学園で学んだことを胸に，卒業後も努力を続けていこうと思います。

全国高等学校定時制通信制教育振興会長賞　修学優秀者　柏学習センター　渡邊海統

自由・自主・自立の校訓を掲げる翔洋学園に入学して，本当に良かったと思います。中３の頃，母のダブルワークの姿を見て，一日も早く自立しないと，と強く思ったのを思い出します。勉強と仕事を両立しながら先生たちに支えられ，就職内定までいただきました。この経験は私の自立心と自己管理能力をとても成長させてくれました。今回の受賞には驚きましたが，この賞に恥じぬよう自分らしく生きていこうと思います。ありがとうございました。

全国高等学校定時制通信制教育振興会長賞　修学優秀者　山形学習センター　佐竹結依

この度は，名誉ある賞を頂き光栄に思います。このような賞を頂けたのは，周囲の沢山の方々が寄り添い，支えてくださったお陰です。私は，先生方のご指導，家族や友人たちの支えのお陰で，志望校に合格することが出来ました。この感謝を胸に，今後も精進して参ります。今回の思いがけない受賞は，私にとって大変励みになりました。これからは新しい環境での生活になりますが，何事にも一生懸命に取り組んで参ります。

全国高等学校定時制通信制教育振興会長賞　部活動功労者　古河学習センター　野底愛

今回，このような素晴らしい賞を受賞することができたのは，定時制通信制体育大会への参加を勧めて下さり，挑戦を応援し続けてくれた先生方や両親，柔道の乱取りと呼ばれる練習中，息子の面倒をみてくれている柔道クラブの仲間達の支えがあったからです。その方たちに，受賞を通じて恩返しできたと思うので，とても嬉しいです。

※各種表彰受賞者のうち，一部のみを掲載いたしました

未来にはばたけ！～卒業証書授与式を終えて～

この３月，翔洋学園高等学校を，1,104 名が巣立ちました。一人ひとり，卒業までの道のりは，艱難辛苦（かんなんしんく）の連続だったことでしょう。

また特に令和２年度は，新型コロナウィルスに振り回された１年でした。卒業証書授与式もまた感染拡大防止の観点から，規模を縮小し対策を万全にした上で，学習センターごとに開催いたしました。

各学習センターの開催日と式場，卒業生の人数については，次の通りです。

３月　４日（木）　千葉学習センター（三井ガーデンホテル千葉　73 名）
　　５日（金）　土浦学習センター（ホテルマロウド筑波　98 名）
　　柏学習センター・ネットキャンパス（ザ・クレストホテル柏　115 名）
　　７日（日）　下館学習センター（スワロウテイル　41 名）
　　９日（火）　水戸学習センター（フェリヴェールサンシャイン　84 名）
　１０日（水）　会津学習センター（会津若松ワシントンホテル　65 名）
　１１日（木）　山形学習センター（山形国際ホテル　60 名）
　１２日（金）　いわき学習センター（グランパルティいわき　71 名）
　１３日（土）　日立本校（ホテル天地閣　27 名）
　１８日（木）　古河学習センター（ザ・カナルハウス　65 名）

今回は上記の中から，いくつかの卒業証書授与式の様子を，参列教員のエールと共にお届けします。

日立本校

あいにくの天気でしたが，温かい雰囲気の中，執り行われました。

卒業生を代表してあいさつを述べた小島桃花さんは，充実した高校生活を振り返り，校訓の「自由・自主・自立」を引き合いに，学校で学んだことや支えてくれた家族への感謝の言葉を述べ，「大きな壁にぶつかることもあるかも知れないが３年間で学んだことを活かし乗り越えていきたい」と宣言してくれました。

また保護者を代表して，菅原敬子様が「ときには人に頼る勇気をもって欲しい。正直に自分をさらけ出すことに勇気はいるが，いつか誰かを支えられるように」と卒業生にエールを送ってくれました。

何事も，少しずつでも歩みを続けることで未来は切り拓けます。諦めずに歩み続けてもらいたいと，日立本校教員一同願っております。

水戸学習センター

卒業証書授与では，卒業生は担任から一人ずつ呼名され，各クラスの代表生徒が校長から卒業証書を受け取りました。また卒業生代表の荒牧晴香さんが，生活体験発表大会に出場したことが諦めかけていた役者になる夢を目指すきっかけになったことや，親への感謝の言葉を述べました。最後の HR では，各担任から「命を大切にしてほしい」「これからの人生，楽しい事もある反面，責任が伴うことが多くなることを自覚して行動してほしい」「失敗しても色々な事にチャレンジしてほしい」とそれぞれ卒業生にメッセージを送りました。卒業生は，卒業証書を一人ずつ渡された後，記念写真を撮るなどし，皆晴れやかな顔で巣立っていきました。

土浦学習センター

出席予定者が一人の遅刻もなかったことや，呼名の際にしっかりとした返事をしてくれたこと，整えられた身だしなみの卒業生の皆さんの姿。門出を飾る一つひとつが頼もしく，嬉しさに胸が熱くなる式でした。式中では，藤井旭日さんが卒業生を代表して，次のようにあいさつを行いました。「卒業生の皆さんは，それぞれ大切な思い出があると思います。中には，コロナ禍で思い出になるはずだったものがなくなってしまったという人もいるでしょう。しかし数年後，友達や家族と過去を振り返ってみて『そういえばあのとき色々なことがあったよね。』と，マスク越しではなく，互いに笑顔を見ながら話せる，そんな日が来ることを願っています。今までたくさんの方たちに助けられ，支えられて今日卒業式を迎えることができました。これからは私が家族の支えになりたいと思っています。」

土浦学習センター教員一同，マスクを外して笑い合える日が一日も早く来ることを心から願いながら，今後も卒業生の活躍を応援していきたいと思っております。

柏学習センター・ネットキャンパス

午前と午後の２部に分け，柏学習センターとネットキャンパス合同で卒業証書授与式が執り行われました。

71 名の卒業生と 46 名の保護者の出席のもと，卒業生代表の渡邊海統さん（午前の部）と湯田真脩さん（午後の部）は，学校生活の思い出を振り返り，支えてくれた人たちに感謝の思いを述べ，翔洋学園で過ごした時間を心の支えとし，強く生きていくと語ってくれました。それぞれの思いを胸に巣立っていく姿に，教員側からもはなむけの言葉を送り，笑顔で締めくくりました。

渡邊海統さん

湯田真脩さん

柏学習センター・ネットキャンパス教員一同，皆さんの未来が素晴らしいものになるよう，心より願っております。

下館学習センター

初の試みでしたが，屋外で卒業証書授与式を挙行しました。式は晴天の下，開放的な雰囲気の中，卒業生の入場で始まり退場で締めくくられました。

卒業生代表として，ルセロジェリコさんと臼井累さんが２人であいさつをしてくれました。お互いに尊重しあう大切さを翔洋学園で学んだことと家族への謝意とをしっかり述べ，立派な社会人になってもっと成長した姿を見せることを宣言してくれました。また，翔洋学園に対し，何事に対しても恐れず，強く生きていくことを約束してくれました。

ルセロジェリコさん（左奥） 臼井累さん（中央手前）

下館学習センターの教員として，卒業生のそばで成長を見守らせてもらったことで，教師として成長することができたと感じています。皆さんを担任することができて，とても嬉しかったです。自信を持ってこれからの生活を送って下さい。

進路決定！～生徒の喜びの声～

会津学習センター　鈴木健仁（就職）

1，2 年生の頃は本気で e スポーツのプロを目指していました。働かなくてはならないことは十分理解していましたが，夢は諦めきれません。家族や先生から働きながら夢を追った方がよいのではないかという助言を受け，何の仕事をすればよいのか，一体何が好きなのか分からないまま，合同面接会に足を運びました。どの企業ブースに行けばよいのかわかりませんでしたが，ハローワークの方が声を掛けてくれ，自分に合いそうな企業を探してくれました。最終的に 4 社の企業と面接し，数日後「健仁君その後どうですか」という問い合わせをいただいた企業を受ける決心がつきました。その後，履歴書や面接練習を何度も繰り返し，最終的に内定を頂きました。悩むより行動を先にした結果が功を奏しました。これからは社会人として自分の夢も追いながら充実した生活を送っていきたいです。

古河学習センター　岩田茉夕（専門学校＝総合型選抜）

受験先の学校の試験内容に，リモート面接とありました。リモートをすること自体が初めてで，何から始めたらいいか分からず，学校で面接指導を受けてから Zoom を利用した専門学校の総合型選抜試験の面接に臨みました。ミーティング ID やパスコードを入力しても繋がらず，何回か試して，やっと繋がったのを覚えています。接続だけで 10 分はかかったので，ぶっつけ本番で同じことが起きたらと考えると，練習をしていてよかったと思います。

本番ではスマートフォンを使用しましたが，面接練習の際は，様々なものを使い角度の調整の練習もできました。自宅でも前もって練習したほうが良いと思います。また，画面がかたまったり，音声が途切れたりすることがあったので，その時の対処法も学校で練習できてよかったと思います。初めてのリモートによる面接試験でしたが，練習の甲斐あって合格できました。

山形学習センター　小林優斗（四年制大学＝指定校推薦）

私が翔洋学園に転入したのは 3 年前の 10 月でした。転入前はいわゆる進学校に在籍していましたが，精神的な病気により，長期の入院が必要となり留年を避けるために転校しました。必死になって合格した高校を去ることになり，勉強への熱意が消えていきました。しかし，薬剤師になりたい気持ちが消えず，葛藤していた時，指定校推薦制度の存在を知りました。前年度のリストに薬学部がいくつか載っているのを見て「これだ」と思い，再び必死に勉強を始めました。通信制では自宅学習が基本なので，やる気を出すのはとても困難でした。しかし明確な目標を持つことで，モチベーションを維持して好成績を収め，指定校推薦の枠を勝ち取ることができました。翔洋学園で，目標を持ち続け努力を怠らないことの大切さを学びました。これからの新生活に生かし，精進していきたいです。

千葉学習センター　齊藤優（四年制大学＝総合型選抜）

全日制高校から自分の時間が多く使える翔洋学園に 1 年生の冬に転入学しました。入学後は飲食店でのアルバイトで副店長を任されるまでになりましたが，あまり勉強もせず，学校生活に力が入っていませんでした。しかし，大学進学という目標があったので，このままではまずいと思い，3 年生になってからは気持ちを切り替え，学校の勉強と受験勉強に集中して取り組みました。学習センターに登校し，小論文や面接の指導を何度もしていただきました。面接の練習では学習センターの先生全員と行い，色々なタイプの面接官に対応できるように練習しました。そして，第一志望の大学に合格することができました！！ 翔洋学園に通っていたからアルバイトと学校生活の両立ができ，大学にも合格できたと思います。4 月からの大学生活が今から待ち遠しいです。